

子ども研究所シンポジウム

「見て、動いて、わかりあう—身体から考える美術鑑賞の可能性—」

大阪樟蔭女子大学附属
子ども研究所・
児童教育学科

開催日 10月10日(土)

時間 14:00~16:00

対象 一般社会人・学生

(院生・大学生・高校生・中学生)
その他(保育・教育・子育て支援、
子どもと教育に関心のある方)

受講料 無料 定員 50名

講師

栗川 直子
准教授坂本 健 先生
(尚綱大学
短期大学部教授)森 みゆき 先生
(尚綱大学こども
教育学部准教授)山崎 浩隆 先生
(熊本大学
教育学部教授)

講座概要

保育・教育に関して、学生、社会人を対象として専門的テーマについて、講演やクロス・トークなどをおこなう。美術鑑賞における身体への役割に着目し、子どもたちが作品を見て、感じて、伝え合う過程を捉え直す。研究知見の紹介と身体を使った鑑賞ワークショップを通して、幼児教育の特徴である身体を通じた学びが、小学校以降の対話的で深い学びへとどのようにつながるのかを参加者とともに考える。

申込締切

10月5日
(月)

児童学

リカレント講座

「ひかりと色であそぼう—光のシアターあそび—」

児童教育学科・児童学会



開催日 10月25日(日) 時間 11:00~12:30

対象 一般社会人・学生

(院生・大学生・高校生・中学生)
その他(保育・教育・子育て支援、子どもと教育に関心のある方)

受講料 1,500円(材料費込み)

定員 30名(最少催行人数: 12名) 補講日 10月31日(土)

児童学会
会員は
無料

講師

丸山 磨美
准教授

講座概要

リカレント(学び直し)の観点から、保育・教育現場に関わる方、子育てや子育て支援に関わる方が最新の情報や現場に役立つ知識にふれることのできる講座を開催する。今回は、身近な光を通す素材やプラバンに色を塗ったり絵を描いたりし、懐中電灯で照らして投影しながら、光と色の造形遊びを楽しむ。また、映し出された形を参加者同士で組み合わせたりし、劇遊びや物語づくりへ展開する活動を体験する。

申込締切

10月20日
(火)

「精進料理とマインドフル・イーティング:食べる瞑想が育む心の豊かさ」

リベラルアーツ学科



開催日 11月7日(土)

時間 10:30~14:00

対象 一般社会人

受講料 4,000円(材料費込み)

定員 24名(最少催行人数: 14名)

講師

中川 明子
教授辻 弘美
教授藤井 まり 氏
【精進料理研究家】

講座概要

忙しい現代社会において、私たちは「食べること」も流れ作業になりがちです。本講座では、精進料理の哲学とマインドフル・イーティング(食べる瞑想)の実践を通じて、食と心の関係を見つめ直し、日常の質を高めるヒントを探ります。講座は2部構成です。第1部では、心理学の視点から、食事が私たちの注意・感情・自己調整にどのように関与しているのかを解説します。第2部では、実際に精進料理の調理と実食を体験し、「いただきます」という言葉に込められた感謝やつながりの意味を味わいながら、人間をみつめる学問や地域文化の視点から、食をめぐる知恵とこころの関係を学びます。

申込締切

10月22日
(木)

第45回樟蔭

ファッションセミナー

太夫のひとり言 —島原の太夫文化と「よそおい」—

化粧ファッション学科



開催日 12月5日(土)

時間 14:00~16:00

対象 一般社会人・学生 (院生・大学生・高校生)

受講料 無料 定員 150名

講師



花扇太夫

講座概要

京の六花街で最も長い歴史を持つ島原には、現在も「太夫」が存在します。今回の樟蔭ファッションセミナーでは、島原太夫として島原の伝統と太夫文化を伝え続けてこられた花扇太夫を講師にお迎えします。島原の世界で展開されてきた太夫文化についてご解説いただくとともに、太夫の「よそおい」(衣装・化粧・髪型)の歴史から現在に至るまでの様相についてお話しいただきます。

申込締切

12月2日
(水)

大学院化粧ファッション学専攻・

化粧ファッション学科スペシャル講座2026

ファッションビジネスと生活者ニーズ

化粧ファッション学科



開催日 2027年1月9日(土)

時間 13:00~14:30

対象 一般社会人・学生 (院生・大学生・高校生)

受講料 無料 定員 50名(最少催行人数: 10名)

講師



岸本 泰蔵 教授

講座概要

作れば売れる時代は終わり、多様化する生活者のニーズに合わせた商品開発が求められています。ファッションビジネスの歴史やマーケティングの変遷をふり振り返りながら、生活者ニーズをどのようにして見つけ、どのようにして商品開発に活かすのかを考察します。また、生活者ニーズを重視している企業的事例を紹介し、これからの商品開発のあり方やファッションビジネスと生活者ニーズの関係について考えます。

申込締切

1月6日
(水)